



目黒川 鎮守橋



荏原神社



荏原神社寒桜



品川神社へ (第一京浜)



品川神社大黒天の前で



品川神社本殿



富士塚頂上



品川神社の階段



養願寺



富士塚7合目



一心寺



一心寺

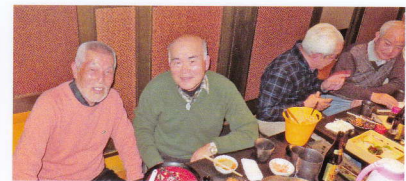
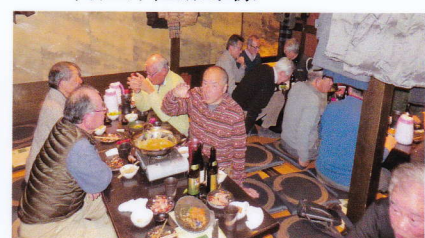


品川台場 (御殿山下台場)



利田神社鯨塚像

御殿山下台場(砲台)跡  
嘉永6年(1823)、アメリカ合衆国のペリーが4隻の軍艦(黒船)を率い、日本に開国を求めたの消息(神皇正統)に報載しました。開国を待たぬ日本の武士階級に、徳川幕府は江戸の町を守るため、急いで品川沖から蒲田湾にかけての砲台を造ることにしたのです。伊豆山(御殿山)の代官・江川太左衛門安藤がオランダの船をもとに砲台づくりの指導に当たり、第一から第三砲台と第五・第六砲台は完成しましたが、残りの第四・第七台途中で工事を中止し、第八以下は東江にも至らなかったのです。その代わりとして、陸続きで五角形の砲台を造るようになりました。これが御殿山下台場(砲台)です。明治になると埋め立てられ築を消しましたが、幸いなどに台場の輪郭は遺って残り、今でもその位置と形を知ることが出来ます。跡地に建つ台場小学校の敷地はこの台場の半程程の面積を占めています。台場跡からは石塚が見え、小学校はその石塚を使った記念碑が建てられました。石塚の上には灯台は、明治3年(1870)、日本で3番目の洋式灯台として第二台地に造られた品川灯台を建てたものです。品川灯台は、現在国の重要文化財として愛知県大府市の博物館明治村に移設されています。平成18年、3月31日 品川区教育委員会



個室居酒屋「若の台所」